

令和5年12月吉日

厚生労働大臣  
武見 敬三 殿

一般社団法人日本感染症学会  
理事長 長谷川 直樹

### 抗微生物薬の安定供給に向けての嘆願書

2019年のセファゾリン供給停止に端を発した抗菌薬の供給問題については未だ解決の見通しが立っておりませんが、2022年3月には、日本化学療法学会、日本感染症学会、日本臨床微生物学会、日本環境感染学会、日本小児感染症学会の関連5学会より、「抗菌薬の安定供給に向けた提言」\*を発出いたしました。その中で感染症診療において治療上不可欠な抗微生物薬32剤をあげ、問題解決に向けた対応として、1)薬価の再評価、2)国内での生産体制の整備、3)サプライチェーンの状況と課題の把握、4)後発医薬品を含めた医薬品の品質確保、について提言いたしました。その後、さまざまな施策をご検討いただき、実際に施行されておりますことに感謝申し上げます。また、先の提言で挙げさせていただいたkey drugsにつきましては、各企業とも使命感を持ってその生産維持に取り組んでおられます。しかし、この度の診療報酬改定において、生産・安定供給に必要な薬価を得られない薬剤もあり、今後、各製薬メーカーには対応を迫られる状況も予測されます。

つきましては、我が国の感染症診療の適切な水準維持のためにも、key drugsの安定供給に関しましては、貴省におかれましても何とぞご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

\*抗菌薬の安定供給に向けた提言

[https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/guidelines/teigen\\_220421.pdf](https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/guidelines/teigen_220421.pdf)